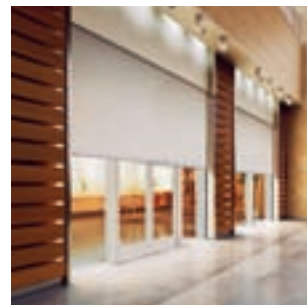


s a n w a

r e p o r t

第76期
中間報告書

2010.4.1
2010.9.30



三和ホールディングス株式会社

証券コード：5929



株主の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。ここに当社第76期（2010年4月1日～2011年3月31日）の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の状況

当期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や企業の設備投資が持ち直しつつあるなど自律的回復に向けた動きもみられましたが、急激な円高の進行や株価の低迷、高失業率により引き続き厳しい状況となりました。

米国経済は、失業率は高水準にありますが、個人消費、設備投資は緩やかな回復傾向にあり、また、欧州経済は、景気が持ち直してきてはいるものの、南欧諸国の財政問題の影響などもあり回復テンポは弱いまま推移しました。

当社グループを取り巻く経営環境は、住宅・設備投資の本格的な回復がみえず、公共投資も総じて低調に推移しており、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況下、当社グループは、リーマンショック以降の急激な経営環境の悪化への対応を図るため、新たに2010年度を初年度とする新3ヵ年計画をスタートさせ、本年度は、グループ総力を挙げて、PDCAサイクルをスピードアップ、レベルアップし、受注の維持・確保に注力するとともに、構造改革を推進してまいりました。

以上の結果、第2四半期連結累計期間の業績は、国内については、軽量シャッター、メンテ・サービスは前年同期を上回ったものの、重量シャッターや非シャッター製品の売上が回復せず、減収となりました。

国外については、北米は、昨年12月にウェインダ

ルトン社から買収したドア事業の統合効果により、大幅に増収となり、一方、欧州は、住宅市場、産業用市場ともに低迷し減収となりましたが、連結売上高については、前年同期を上回ることができました。

利益面では、全グループでのTCR活動や構造改革、緊急コスト削減策の推進などによるコスト削減効果により、営業利益・経常利益は増益となりましたが、本年6月に公正取引委員会から課徴金納付命令を受け、当該課徴金を特別損失として計上しましたことから、四半期純損益は大幅な減益となりました。

通期の見通し

今後の見通しにつきましては、国内では設備投資の回復の遅れなどにより、欧米では住宅市場の本格的な回復がみられないことなどに加えて、鋼材の値上りの影響もあり、引き続き厳しい経営環境が続くものと思われま

す。このような環境下、当社グループといたしましては、最重要課題である受注・売上の維持・確保に向けて、地域別、商品別の戦略を明確にし、全グループを挙げて注力してまいります。

グループ構造改革とTCR活動は継続して推進するとともに、世界的調達戦略などグローバルなコスト構造の見直しや、グループ内の相互連携を更に強化し、経営資源などの共有化の実現を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、当社の経営方針ならびに諸施策をご理解いただき、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、当社子会社の三和シャッター工業株式会社は、本年6月9日、公正取引委員会から独占禁止法に違反する行為があったとして、近畿地区の受注調整に係る排除措置命令を受け、これが確定したことに伴い、10月25日付けで国土交通省より建設業法に基づき30日間の建具工事業に関する営業の停止命令を受けました。

当社グループは、今回の処分を厳粛に受け止め、今後このような事態が起きることの無いよう、コンプライアンスの一層の徹底に取り組み、信頼の回復に全力で傾注して参りますので、何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。株主の皆様には、多大なるご心配とご迷惑をお掛けしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

2010年12月

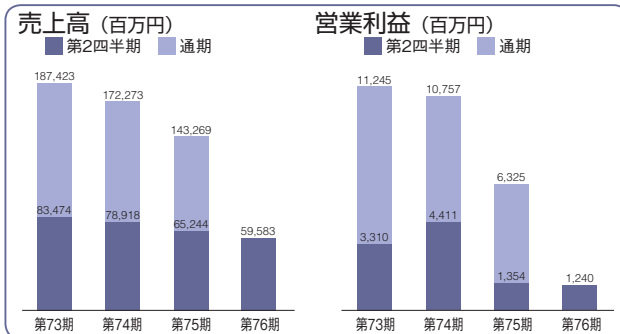
代表取締役社長 高山 俊隆

地域別営業の状況 (第2四半期連結累計期間)

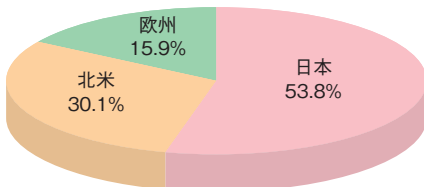
日本	売上高	59,583百万円
	営業利益	1,240百万円

軽量シャッター、窓シャッター、メンテ・サービスは前年同期を上回り堅調に推移しましたが、設備投資の回復が遅れている影響により重量シャッターやビル・マンションドア、非シャッター製品の減少に歯止めがかからず、売上高は前年同期に比べ8.6%減の595億8千3百万円となりました。

営業利益は、中核事業会社の三和シャッター工業が構造改革の推進とTCR (Total Cost Reduction) 活動の取り組みにより前年同期を上回りましたが、他の連結子会社は減収の影響を補えず減益となったため、前年同期に比べ8.3%減の12億4千万円となりました。



●地域別売上高構成比



(注1) 地域別セグメントに属さない数値は除いているため、各地域の売上高、営業利益の合計値は、連結売上高、連結営業利益とは一致しません。

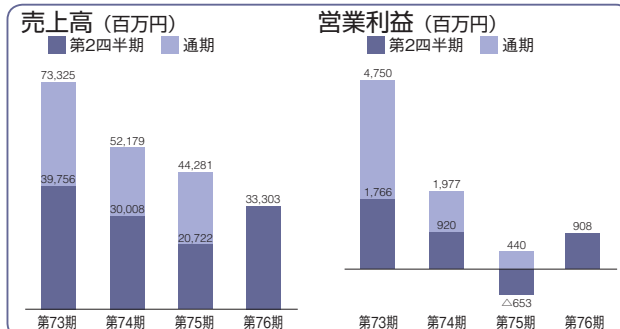
(注2) 記載金額・%は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

(注3) この第1四半期より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」を適用しているため、今期以前のセグメント情報については、変更後のセグメントに組み替えた数値を用いております。

北米	売上高	33,303百万円
	営業利益	908百万円

住宅市場の回復スピードが遅く、商業用市場も引き続き落ち込みましたが、ウェインダルトン社からのドア事業の取得による統合効果やトラック業界の回復による車両用ドア事業の復調により、売上高は前年同期に比べ60.7%増の333億3百万円となりました。

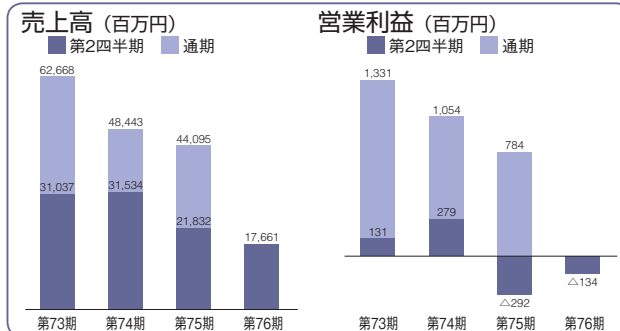
営業利益は、増収効果や原材料費値下り、製造コスト・販管費の抑制などにより大幅に改善し9億8百万円となりました。(前年同期は6億5千3百万円の営業損失)



欧州	売上高	17,661百万円
	営業損失	△134百万円

住宅市場は緩やかながら回復をみせましたが、産業用・商業用市場は回復の兆しがみられず、競合各社との競争激化の影響もあり、売上高は前年同期に比べ19.1%減(現地通貨ベースで12.9%減)の176億6千1百万円となりました。

利益面では、減収の影響により1億3千4百万円の営業損失となりましたが、販売組織再編などの構造改革の推進やコスト削減策の継続により前年同期より損失幅は改善しました。(前年同期は2億9千2百万円の営業損失)



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表の要旨

科目	前期末 (2010年3月31日)	当第2四半期末 (2010年9月30日)
資産の部		
流動資産	133,354	126,419
現金及び預金	31,538	25,576
受取手形及び売掛金	57,263	47,440
有価証券	4,185	8,630
棚卸資産	34,068	38,542
その他	7,414	7,361
貸倒引当金	△ 1,116	△ 1,132
固定資産	113,244	106,456
(有形固定資産)	(58,435)	(54,228)
建物	19,609	17,785
土地	22,847	22,525
その他	15,979	13,917
(無形固定資産)	(15,917)	(14,935)
のれん	1,643	804
その他	14,273	14,130
(投資その他の資産)	(38,891)	(37,292)
投資有価証券	25,914	23,995
その他	13,499	13,813
貸倒引当金	△ 523	△ 515
資産合計	246,599	232,876

※ 有形固定資産の減価償却累計額 68,454百万円

四半期連結損益計算書の要旨

科目	前第2四半期累計 (2009年4月1日～ 2009年9月30日)	当第2四半期累計 (2010年4月1日～ 2010年9月30日)
売上高	108,024	110,609
売上原価	80,959	82,659
売上総利益	27,064	27,949
販売費及び一般管理費	27,638	27,580
営業利益又は営業損失 (△)	△ 573	368
営業外収益	633	650
営業外費用	813	930
経常利益又は経常損失 (△)	△ 752	88
特別利益	39	43
特別損失	459	3,370
税金等調整前四半期純損失 (△)	△ 1,173	△ 3,238
法人税等	△ 249	198
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	—	△ 3,437
少数株主損失 (△)	—	△ 17
四半期純損失 (△)	△ 924	△ 3,419

※ 1株当たり四半期純損失 △14円22銭

(単位：百万円)

科目	前期末 (2010年3月31日)	当第2四半期末 (2010年9月30日)
負債の部		
流動負債	107,031	98,017
支払手形及び買掛金	35,180	31,064
短期借入金	20,549	20,117
1年以内返済予定の長期借入金	17,315	11,407
その他	33,985	35,428
固定負債	43,457	46,732
社債	20,000	22,000
長期借入金	6,762	8,664
退職給付引当金	10,505	10,154
その他	6,189	5,913
負債合計	150,489	144,750

純資産の部

株主資本	97,908	93,347
資本金	38,413	38,413
資本剰余金	39,902	39,902
利益剰余金	29,281	24,721
自己株式	△ 9,689	△ 9,689
評価・換算差額等	△ 1,884	△ 5,302
その他有価証券評価差額金	△ 2,782	△ 3,999
繰延ヘッジ損益	—	85
為替換算調整勘定	897	△ 1,388
新株予約権	56	72
少数株主持分	29	7
純資産合計	96,109	88,125
負債純資産合計	246,599	232,876

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

科目	前第2四半期累計 (2009年4月1日～ 2009年9月30日)	当第2四半期累計 (2010年4月1日～ 2010年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,502	1,044
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,515	△ 2,124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,728	△ 858
現金及び現金同等物に係る換算差額	49	△ 318
現金及び現金同等物の増減額	6,339	△ 2,255
現金及び現金同等物の期首残高	20,547	34,912
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,887	32,656

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

エコマーク取得商品

高速シートシャッター クイックセーバー



三和シャッター工業株式会社の高速シートシャッター「クイックセーバー」が、10月5日にエコマークを取得しました。

高速シートシャッターのエコマーク認定基準は2010年7月1日に制定されたもので、当社にとって初のエコマーク取得商品となります。

三和の「クイックセーバー」は、工場・倉庫の出入口や建物内の間仕切りとして使用する高速シートシャッターです。

カーテン部分がシート主体で構成されており、一般的な鋼製シャッターに比べて約10倍～20倍の高速で閉開することで、温度差や風などによる開口部からの空気の流出入を最小限に抑えます。

風やほこり、虫の流入を抑制し室内の急激な温度変化を防ぐことで、商品の品質保持や快適な作業環境の維持に役立つほか、空調効率アップにより省エネに寄与します。

※エコマークは、様々な商品（製品及びサービス）の中で、「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベルです。

エコマーク事業は、財団法人日本環境協会が実施しています。

小規模オフィス向け 指静脈認証セキュリティドア ヴィーナスロック

VENOUSLOCK



三和シャッター工業株式会社では、指をかざすだけのワンアクションでスピーディに解錠できる指静脈認証装置を組み込んだ軽量スチールドア「ヴィーナスロック」を8月2日より全国発売いたしました。

三和のセキュリティドア「ヴィーナスロック」は、セキュリティ性の高いとされる生体認証の中でも、偽造されにくく確認精度の高い指静脈を利用した認証装置を扉の枠に組み込み、一体化したのが特長です。

枠に認証装置が組み込まれているため設置が簡単で、配線は枠の中を通すため、見た目にもすっきりとした納まりです。

主に小規模オフィスや医療・福祉施設等の入室管理の必要な箇所に設置される扉として開発しました。

スタンドアロン（単独）での設置のほか、ネットワーク化にも対応できます。

会社の概要

- 商号 三和ホールディングス株式会社
- 創立 1956年4月10日
- 資本金 38,413百万円
- 従業員数 (連結) 8,548名
※従業員数は就業人員数を記載しております。
- 本社所在地 〒163-0478
東京都新宿区西新宿二丁目1番1号
(新宿三井ビル52階)
TEL (03)3346-3019 (代表)
- 主なグループ会社 三和シャッター工業株式会社
昭和フロント株式会社
沖縄三和シャッター株式会社
三和タジマ株式会社
三和エクステリア新潟工場株式会社
ベニックス株式会社
Sanwa USA Inc. (アメリカ)
Overhead Door Corporation (アメリカ)
Novoferm Europe Ltd. (イギリス)
Novoferm Germany GmbH (ドイツ)
Novoferm GmbH (ドイツ)
Novoferm France S.A.S. (フランス)
Novoferm Nederland B.V. (オランダ)
Novoferm Schievano S.r.l. (イタリア)
- ホームページアドレス <http://www.sanwa-hldgs.co.jp/>
ホームページで最新のトピックス、IR情報等を紹介、各グループ会社のホームページにもリンクしております。
- 役員
 - 代表取締役社長 高山 俊隆
 - 執行役員社長 高山 俊隆
 - 取締役副社長 南本 保 グループ本社部門担当
 - 執行役員副社長 南本 保
 - 取締役 中屋 俊明 国内事業部門担当
 - 専務執行役員 中屋 俊明
 - 取締役 安田 順一 海外事業部門担当
 - 専務執行役員 安田 順一
 - 取締役 谷本 洋実 海外事業部門担当役員補佐
 - 常務執行役員 谷本 洋実 兼 Novoferm担当
 - 取締役 橋本 俊作
 - 常勤監査役 黒澤 勝
 - 常勤監査役 福地 成治
 - 監査役 田辺 克彦 弁護士
 - 監査役 森元 淳平

※ 橋本俊作氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
 ※ 田辺克彦氏および森元淳平氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
 ※ 当社は株式会社東京証券取引所に対して、橋本俊作氏、田辺克彦氏、森元淳平氏を独立役員として届出しております。

株式の状況

- 発行可能株式総数 550,000,000株
- 発行済株式の総数 257,920,497株
- 株主数 12,266名
- 大株主

株 主 名	持株数(千株)	出資比率(%)
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウントアメリカンクライアント	18,347	7.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	15,111	5.85
株式会社三井住友銀行	11,299	4.38
第一生命保険株式会社	11,100	4.30
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	9,599	3.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,307	3.60
日本生命保険相互会社	7,924	3.07
ニッセイ同和損害保険株式会社	7,735	2.99
日新製鋼株式会社	6,968	2.70
ノーザントラストカンパニー-エイブイエフシー-リエースタックスエグゼンプテッドベンションファンズ	6,464	2.50

※当社は自己株式17,596,690株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
 ※記載数値は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主確定日
 - 定時株主総会議決権行使株主 3月31日
 - 期末配当金受領株主 3月31日
 - 中間配当金受領株主 9月30日
 - その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 単元株式数 1,000株
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座口座管理機関
- 同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
- 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所(証券コード5929)
- 公告の方法 電子公告
公告掲載URL <http://www.sanwa-hldgs.co.jp/>
ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告による公告が行えない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。